

2017年5月6日セミナー（方法論研究会@日本大学）後の議論 見取り図 (2017.5.28 浦井)

- (1) 村田康常先生のメール 5/7,12:34 [学問における具体性置き違えの問題提起]
- (2) 浦井の返信 5/7,16:35 [人間の主体性：塩谷氏の質問：独占企業の話]
- (3) 浦井のメール 5/8,2:57 [守永氏の質問書き起こし]
- (4) 村田晴夫先生からのご返信および問題提起 5/9,0:06 [① ルーマン「関係性」 ② W.H. Self-organization of society]
- (5) 三井先生 ／ 福井先生 ／ 守永先生 5/10,18:55 (メール文) ／ 経済学系 (Tarski・リベラル) ／ 浦井-村上 [神学・西田の場所]
守永先生 5/20 (原稿：「象徴としての人間」「生命と象徴」) ／ 浦井-新後閑 5/16,5/18 [学説史・岩井]
- (6) 浦井返信 5/22,15:25 [標準化：学問という立場とその主体性]
- (7) 村田晴夫先生 5/23,17:49 (原稿：守永「生命と象徴」を読んで)
- (8) 守永先生 5/23,23:00 (訂正原稿・学問の標準化の問題はまたの機会)
- (9) 浦井メール 5/24,5:59 (同日阪大での勉強会にてまとめのお知らせ：主体性・具体性・倫理)
- (10) 村田晴夫先生 5/25,14:21 (浦井コメント (7)への応答)
- (11) 浦井返信 5/25,20:41 [一般理論ということと標準化という概念]
- (12) 村田晴夫先生応答 5/26,10:58 [近代科学と総称される方法]
- (13) 浦井返信 5/27,6:28 [一般理論の研究方法としての有限性と関係性]
- (14) 村田晴夫先生応答 5/29, 18:40 [人間を問うこと]
- (15) 浦井返信 5/30, 5:36 [学問と倫理]
- (16) 三井先生メール 5/30, 12:22 [1.学問における論理について 2.人間ということについて]
- (17) 浦井 5/30,14:12 [三井先生宛：論理] ／ 村田晴夫先生 5/30,15:09 [浦井宛：自由] ／ 村田晴夫先生 5/30,16:23 [三井先生宛：becoming]

●その他

- *三井先生： セミナー時の問題提起から 2 点：1.「具体性」は「在る」のか 2.「関係性」における「主体」性の意義
- *竹内先生： 学問の「標準化」の議論
- *福井先生： 関係性と倫理
- *葛城先生： 具体性と Social Ontology の関係
- *塩谷先生： セミナー時の問題提起（書き起こし）：具体性を置く「場所」ということ
- *新後閑先生： 静学と動学、企業の契約的側面と法人的側面および倫理ということ